

ベルギーニュース

モネ劇場財政難

2008年以来12%の予算減に加え、2015年はさらに4%の削減を担うモネ劇場のディレクターは、客演指揮者René Jacobsによるパロック・オペラをなくし、年間9~10作品のオペラを7~8作品に縮小する。また、ダンス公演もなくすと発表した。さらに、モネ・オーケストラ団員をベルギー・ナショナル・オーケストラに派遣し、収入を増やす可能性も追加した。世界的なダンス振付師Sidi Larbi Cherkaouiも、モネ劇場の決定にショックを受けている者のひとりだ。彼は今後ロンドン・パリ・東京でダンスを続けるという。

世界の人気者は？

新聞社La Libre Belgiqueの2014年の人気調査で、フランシスコ・ローマ教皇が33%の支持率でトップの座に輝いた。ベルギー首相シャルル・ミシェル(27%)、ベルギー人歌手ストロマエ(20%)が続いて人気を集めている。

プロトン支払い

昨年10/1にプロトンによる支払いを終了すると発表され、12/31でプロトンへのチャージができなくなり、今年1/1より支払いもできなくなった。支払い機は2/28までに撤去される。プロトンカード発行の銀行を通して、カードの残金を回収できる。



*プロトン機能：銀行カードに付随するICチップに希望金額をチャージし、パン屋などで小額の支払いをする電子マネーシステム。

ブリュッセル2015年からの変更

- ・電気/ガス新料金・・・Sibelgaは2015年から2019年の新料金を発表した。2015年の料金は共に減額となるが、2019年まで少しずつ上昇する。これに伴い、2015年のガス料金は2013年の料金に比べ2.5%の減額になる。また、2019年の電気料金は、2013年より多少増額となる。
- ・STIB/MIVB・・・2/1より一部の料金が値上がりする。STIB/MIVBのみ使用できる乗車券はなくなり、ブリュッセル市内のDe Lijn、TEC、SNCB/NMBSにも乗車できるJump乗車券のみとなる。1回券は€2.10、10回券は€14、また、年間券+空港行きは€580となる。
- ・ブリュッセル市内の建設・・・PEB(建物のエネルギー性能)の環境に対応するエネルギー消費量と、CO2排出量の基準がより厳しくなり、その新規基準が1/1より適用される。
- ・固定資産税・・・各州は独自に世帯主に対し増減税を決定できるようになる。ブリュッセルでは2017年まで変更はないが、フランダース地方のように増額にならないとは限らない。
- ・歩行者天国・・・7/18までに順次De BrouckèreからFontainas間の道路が閉鎖され、歩行者専用道になる。ブリュッセル市は夏休み中に該当住民に慣れてもらうようにし、必要な道路工事は8カ月の猶予期間後に始めるという。
- ・速度監視レーダー導入・・・日程は未定であるが、フランクリン・ルーズベルト通りやレオポルド2世通りなどの大通りにレーダーを設置し、スピード違反の取り締まりを強化する。

複数語話せる警察官

1/10、モビスターの営業担当者が偶然アラビア語とリンガラ語を話せる警察官に出会い、フェイスブックなどのソーシャル・ネットワークにその情報を投稿した。この警察官ジャン・マリーさん(52)は、他の国籍を持つ同僚たちにそれぞれの言葉を習った言語愛好家で、彼についての情報によって警察への親しみが沸いたと人気を集めている。彼はブリュッセルのサン・ジル区出身で、常に移民の住民と接してきた。他にもオランダ語、英語、スペイン語をはじめ、ギリシャ語、トルコ語、セルビア・クロアチア語、ポーランド語、ヘブライ語を話す、一度も外国に行ったことがないという。

Charlie Hebdo

1/7にパリで12人もの命を奪ったフランス紙襲撃テロ事件に伴い、ブリュッセルでも被害者たちへの追悼行進が行われた。14日にフランスで発行されたCharlie Hebdo紙は、15日にベルギーでも販売され、既存の読者に加えて、言論の自由に賛同する新規の読者も購入に走り、4万部という驚異の販売部数を記録した。

美しい駅

Sites-hotels.comの調査によるヨーロッパ5大美景駅のトップに、アントワープ駅が選ばれた。一部近代部分を持つ駅だが、友人に「さようなら、また会おうね。」と声をかけるのにふさわしいロマンチックな駅だという。また、同駅は2009年にすでにアメリカのNewsweek誌上で、1位のロンドンSt Pancras駅、2位のニューヨーク中央駅、3位のムンバイChhatrapati Shivaji Terminus駅に次ぐ4位の地位を獲得していた。今回の調査で、2位はパリの北駅、3位はロンドンのKing's Cross駅、4位はアムステルダム中央駅、5位はベルリンのFriedrichstrasse駅であった。



ベルギーが危ない

リエージュ近郊のVerviersにおけるテロリストの捜査で容疑者2人が射殺され、1人が逮捕された。この事件に伴い、VerviersやブリュッセルのMolenbeek、Anderlecht、Berchem-Sainte-Agatheなどで12件の捜索が実施され、武器のほか警察の制服などが発見されたため、ベルギー政府はイスラム過激派による大規模なテロが計画されていると判断し、1/15、テロ警戒レベルを3(最高4)とした。

捕まった、逃げている、どうなるベルギー

Verviersで摘発されたテロリストにかかわったとみられる人物がまだ2名逃亡中である。1人は21歳のベルギー国籍、もう1人は18歳のオランダ国籍。武器を持っている可能性のあるこの2人はパリへ逃げたのち、マドリッド経由でイエメンかサウジアラビアに渡っているかもしれないという。さらに、1/20、ギリシャに逃げていたジハード主義者のアルジェリア人(33)が捕まり、ベルギーに移送されることとなった。

RESTAURANT INADA

フランス料理レストラン



ランチ €29
ディナーコース €54

Tel : 02 538 01 13 Rue de la Source 73
定休日 : 土曜日/日曜日/月曜日/祭日 1060 Bruxelles

編集後記

今月からプチボワスタッフの仲間入りをさせていただきます、ぴんくまと申します。読者の皆さまのお役にたてますよう、がんばってまいります。今月のプチボワはいかがでしたか？ 寒くて家に留まりがちなのこの季節、今月のプチボワをじっくり読んでお出かけの予定を考えたり、バックナンバーを読み返したりして、ツマラナイをワクワクに変えましょう！ ぴんくま

はじめまして。今月号からプチボワスタッフの一員となりました、はるせと申します。皆様の心地よい暮らしのお手伝いができますよう、頑張ります。慣れない異国の地、寒さが続くこの時期、プチボワを読んで暮らしの楽しみを増やしていきましょう！ はるせ

神野陽子 Chokito 伊藤知子
Joji MOREAU 玲央